

　大和田さんの学級では、自分たちが生活する緑山地区ついて調べたことを新聞にまとめ、学級の友達に発表することにしました。大和田さんは、災害について調べています。

１　まず、大和田さんは、近所の人に取材をして、情報を集めることにしました。大和田さんは、聞いておきたいことを落とさないように、事前にインタビューメモを作って取材を行いました。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 聞きたい話題①　具体的なひ害について　◎具体的にどのようなひ害があったのか。　　（予想）くずれや川のせき止め聞きたい話題②　体験談について　　◎どのような体験をしたのか。 | 必ず聞きたいこと | 目的 | インタビューの相手 |
| 　　過去に緑山地区で起こった災害について、体験談をもとに話を聞く。 | 近所に住む自治会長　白井さん |
| 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　・緑山地区で最もひ害が大きかった場所はどこか。　　（予想）たちばな公園（元工場だった場所）　・どこに、ひなんしたのか。　→　どれくらい。・地震が起きた後、子どもたちは、小学校に通うことができたのか。　　（予想）すぐには学校へ通えなかった。 | 必要に応じて聞きたいこと |

〈インタビューメモ〉

〈大和田さんのインタビュー〉

　白井さん、こんにちは。今日は、昔、緑山地区で起きた大について聞きたいと思います。よろしくお願いいたします。

　よろしくお願いいたします。

白井さんは、長年、この緑山地区で生活されていますよね。今から五十年ほど前に起きた大について、この緑山地区の具体的なひ害について教えてください。

そうですね。あの時は立っていられないほど、大きく地面がゆれたのを覚えています。具体的なひ害ですが、この緑山地区は山のふもとの地区なので、多くの場所でくずれが起きました。昔、地区を流れていたみどり川は、でせき止められ、今では湖になっています。

　みどり川が湖になった話は、社会科の授業で聞いたことがあります。その時、たちばな公園がある場所も、大きなひ害があったと先生から聞きました。やはり、緑山地区で最もひ害が大きかったのは、たちばな公園なのでしょうか。

　はい。以前、たちばな公園があった場所には、大きな工場がありました。のひ害で、その工場の建物がほとんどつぶれてしまいました。幸いにも、人へのひ害はなかったのですが、大きながあったことを忘れないために、工場のあと地を公園にして、記念が建てられています。

　なるほど。大きなひ害があったのですね。があった当時、白井さんは小学生だったと聞いておりますが、忘れられない体験などがあったら教えてください。

　分かりました。本当にこわい思いをしたので、今でも昨日のことのように覚えています。・・・・・

一　インタビューメモの内容から、大和田さんの取材の方法として適切なものを、次の１から５までの中から二つ選んで、

その番号を書きましょう。

１　聞き取りの時間配分や場所を考えて取材しようと計画を立てている。

２　正確な情報を聞き取るために、具体的な写真や資料を用いて取材しようと計画を立てている。

３　たくさんの情報を得るために、相手を決めずに取材しようと計画を立てている。

４　聞きたいことに対して、どんな答えが返ってくるか予想を立てて取材しようと計画を立てている。

　５　必要な情報を得るために、必ず聞きたいことと必要に応じて聞きたいことを分けて取材しようと計画を

　　　立てている。

二　大和田さんのインタビューの進め方の工夫で、最も適切なものを、次の１から４までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

　１　相手の話と関係づけた質問しながら、話題を進めている。

　２　相手が話したことを聞き返し確認しながら、話題を進めている。

　３　自分の考えや思いを中心に伝えながら、話題を進めている。

　４　必ず聞きたいことだけを聞き取りながら、話題を進めている。

２　大和田さんは、取材をもとにふだんから災害に備える必要があると考えて、さらに市役所の人に取材を行いました。次は、大和田さんが取材した【市役所の人の話】と取材をもとにして書いた新聞の原こうです。

【新聞の原こう】

いざという時に備えよ！

　市役所では、災害に備えて、様々な取組を行っています。例えば、小学校での防災教育や防災備ちく倉庫の配置を行っているそうです。

　　①　　、市役所だけでなく、私たち自身も、いざという時に備えることが必要だと思います。

　私たちができることは、

市では、地震などの災害に備えて、どんな準備をしていますか。



いざという時にそなえて、ひなん所に防災備ちく倉庫を配置しています。防災備ちく倉庫には、食べ物や飲み物、発電機など、様々なものが蓄えられています。

また、小学校に行って、「防災教育」を行っています。みなさんも、自分のの危険を知ったり、災害用リュックなどを用意したりしておくと、いざというときに安心ですね。さらに、市では防災マップを発行しているので、家族みんなでひなん所をしておくことも重要ではないでしょうか。

三　　　①　　に入る言葉として最もふさわしいものを、次の１から４までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

　１　それとも

　２　一方で

　３　なぜなら

　４　では

四　【新聞原こう】の　　　　　　　　　　に入る内容を、あとの条件に合わせて書きましょう。

〈条件〉〇市役所の人へのインタビューをふまえて書くこと。

〇書き出しの言葉に続けて、五十文字以上、八十文字以内で書くこと。書き出しの言葉は、字数にふくめない。

〇◆印から書くこと。とちゅうで行を変えないで、続けて書くこと。ただし、二文になってもかまわない。





３　大和田さんは、インタビューをもとに新聞にまとめました。

五　①の言葉　　　　を、を使って書き直すことにしました。文の意味が変わらないように、正しい敬語を、次の１から４までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

１　申しました。

２　参りました。

３　差し上げました。

４　うかがいました。

六　大和田さんは、②の言葉の漢字を習っていることに気づき、書き直すことにしました。　　　　部②を漢字でていねいに書きましょう。

七　大和田さんは③の言葉を、意味を変えずに書きかえることにしました。次の１から４までの中から、③の言葉と同じ意味になる言葉を選び、その番号を書きましょう。

１　心理的でした。

２　印象的でした。

３　積極的でした。

４　理想的でした。